

伊豆市立修善寺東小学校 ジオ学習 ～見慣れた風景には意味がある～

(文責 伊豆市立修善寺東小学校 中村 洋介)



伊豆半島ジオパーク推進協議会の協力のもと、伊豆市立修善寺東小学校の5年生は、6月30日(水)にジオリア見学、7月16日(金)に浄蓮の滝から月ヶ瀬、下白岩へと、狩野川に沿ってフィールドワークを実施しました。

本校では、5年生の「総合的な学習の時間」のテーマとして、「伊豆市の土地と自然」を設定しています。そこで、伊豆市の土地の特色や歴史について知り、それぞれの子供たちが課題を見つけなければと思い、ジオ学習に取り組み始めました。

伊豆市の特色として、初めに子供たちが挙げたものは、わさび、山、そして狩野川でした。わさびに必要な物はきれいな水。その水は天城山から来る…と、順番にたどっていくと、子供たちは、どうやら山に秘密があると考えようになりました。そこで、伊豆の山や土地はどうやってできているのかを知るために、ジオリアへと行きました。

ジオリアでは、動画やプロジェクションマッピングを見ながら、伊豆半島がどのようにできたのかを学ぶことができました。そこでは、火山が伊豆半島にたくさんあることや、南の海から島が移動してきて、今の形になったことが分かりました。また、水理模型を見せていただいたことで、自分たちの学校や家がある場所のでき方が分かり、川の流れと自分たちの生活とのつながりを感じられたようです。

フィールドワークでは、始めに浄蓮の滝の観察をしました。子供たちは、3年生の頃にも皆で見に来たことがありました。しかし、そのときは違い、地形や岩、水の流れを中心に見ていったため、新たな発見を楽しみながら観察できました。浄蓮の滝では、凝灰岩について説明をしていただきました。子供たちは、凝灰岩が海の底でできたものであることを聞き、始めはあまりよく分からないようでした。しかし、狩野川を下りながら観察する中で、河原にある大きな岩が凝灰岩であり、伊豆以外の川ではなかなか見られないことが分かってくると、伊豆半島が海から来たことを少しずつ理解できてきました。そして、最後に観察した下白岩のレピドシクリナや貝の化石で、更に土地への興味をもつことができました。下白岩には習い事等でよく来る子が多く、自分たちの身近な所に、そんな大切な歴史の痕跡があることに驚いていました。

今回の見学会、フィールドワークを通して、伊豆半島の歴史や大陸の動きに興味をもった子供たちが、とても多かったです。貴重な学びの場をいただいた推進協議会の皆様やジオガイドの方に感謝申し上げます。



南伊豆東中学校 ジオ学習 ～生徒の素朴な疑問に答えていただいたジオ講話～

(文責 南伊豆町立南伊豆東中学校 堤 奈々)

本校1年生の総合的な学習のテーマのひとつが「ジオ学習」です。5月に全校生徒で実施した遠足では、田牛のサンドスキー場、竜宮窟、タライ岬、逢ヶ浜、弓ヶ浜などのジオスポットを訪れました。地元のジオガイドさんが同行してくださり、ジオに関するさまざまなお話をうかがうことができました。

遠足から戻り、学んだことを整理していると、「竜宮窟のハート型の地形は、どのようにしてできたのだろう。」「サンドスキー場の砂の角度は30°だと聞いたけれど、もっと急な角度のように感じた。」など、ガイドさんから

聞いたことをもとに、新たに知りたいことが生まれました。その後、調べ学習や実験などをする中で、「南伊豆は昔、海だった場所があると聞いたけれど、どの辺りだろう。」「柱状節理をつくる実験をしてみたけれど、うまく六角形にならない。」など、さらに疑問が増えていきました。インターネットで調べても分からず、専門の方に教えていただきたいと考え、伊豆半島認定ジオガイドの齊藤武さんに講話をお願いすることにしました。

齊藤さんの講話は、「南伊豆の自慢は何ですか。」という投げかけから始まりました。そして、生徒の素朴な疑問にも、ひとつひとつ丁寧に答えてくださいました。竜宮窟の地形に関する質問に対しては、写真を提示しながら、大昔に海底がせり上がって地上に現れ、そこに波が当たって長い時間をかけて岩が削られたこと、黒っぽいところはマグマが固まってできた場所であるために硬く、白っぽいところは火山灰が固まったところであるため比較的柔らかいことなどをわかりやすく話してくださいました。生徒たちは、「伊豆半島は昔、海の中にあったと聞いて驚いた。」「竜宮窟は、岩



に硬いところとやわらかいところがあり、波で削られて偶然ハートの形になったなんておもしろい。」と感想を記していました。

生徒がはじめに「南伊豆の自慢」として齊藤さんに答えていたものは、美しい海をはじめとする豊かな自然でした。それは、大昔、海の中から誕生したという伊豆半島の地理的な特徴と深いつながりがあるということを学ぶことができました。「自然って不思議だし、おもしろいな。」「改めて南伊豆の魅力を見つけない。」と感じたジオ講話でした。

【編集後記】

修善寺東小の授業内で講師から冒頭に「見慣れた風景には意味がある」というお話がありました。児童たちはその言葉を意識しながら授業に一生懸命取り組んでいました。

また、通常は先に座学を行ってから現地FWに行くのですが、南伊豆東中は先に現地へ行き、その後の座学の中で、現地で感じた疑問に講師が答えるという初めての形でした。先に現地を見ているからこそ出てくる質問が多く、大変充実した時間でした。